

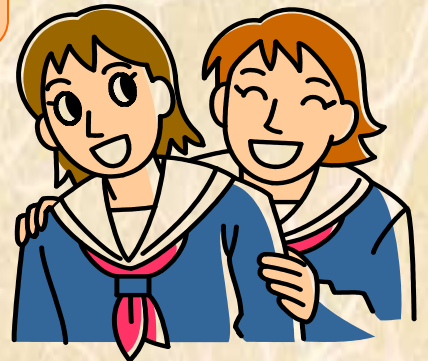
不登校の子どもや保護者のための

家庭訪問

～信頼関係の構築と校内の体制整備～

寄り添う

子どもたちの
笑顔のために



本人や保護者の
心情に寄り添って

つながる



学校と家庭が
十分な連携を

支える

- ◆ ひとりで抱え込まず、「前向き」にかかわっていこうとする姿勢が大切です。
- ◆ 担任を支える教職員の「チームワーク」が必要です。

家庭訪問を繰り返しても、改善しない状況が続くと



うまくいかないとき、このように考えてしまうことはありませんか？

欠席児童生徒への初期の対応(家庭訪問する場合)

不登校の状態になる前には、必ず「欠席し始める時期」があり、この初期の対応が極めて重要になります。もちろん、単に病欠の場合もあると思われませんが、「不登校の前兆では」と捉え、慎重に対応することが必要です。

たとえば、ある子どもが連続欠席日数が3日、あるいはひと月の累積欠席日数が5日になった場合など(ただし、ケースによって異なるので、訪問日をいつにするかは学年会等で決定)、速やかな家庭訪問が有効です。

- 本人の状況確認(病状、表情等)が最優先です。
- 「心配しているよ」という気持ちをしっかり伝え、短時間で切り上げましょう。
- 欠席の理由があいまいな場合でも、無理に聞き出そうとするのではなく、「何か話したそうであれば聴く」という姿勢で臨みましょう。
- 発達段階や家庭環境等の状況によっては、積極的に登校を促した方が有効な場合もあります。

不登校が深刻化してくると...

子どもも保護者も様々な不安や相反する気持ちを抱えているものです。

【子ども】

- ・ 学校なんか行きたくない(でも、仲のよい友達には会いたい)
- ・ 誰にも会いたくない(でも、放っておかれると不安)
- ・ 先生に相談したって仕方ない(先生に迷惑かけて申し訳ない)
- ・ どうせ自分なんかだめな人間なんだ(自分のことをわかってくれない) 等



【保護者】

- ・ なぜ我が子がこうなってしまったのか、自分の子育てが悪かったのではないか(でも愛情をもって一生懸命育ててきたはずなのに)
- ・ 先生にじっくり相談したい(でも育て方を批判されるだけではないか)
- ・ 学校に迷惑をかけて申し訳ない(でも学校に原因があるのではないか) 等

子どもの心・保護者の心に寄り添うためにも効果的な家庭訪問が必要です。

1 家庭訪問する際の担任としての心構え

【本人へのかかわり】

無理のないペースで計画的に実施し、本人の様子に応じて柔軟に対応することが基本 **寄り添う** **つながる**

- ・ 本人の状況を把握し、気持ちを受け止めることが大切です。
- ・ その日の家庭訪問ですべてを解決しようと思わないようにしましょう。
- ・ 無理な約束をしないようにしましょう。
- ・ 登校できない理由を無理に問いかけるより、信頼関係づくりを優先しましょう。
- ・ 本人の趣味や好みに合わせ一緒に遊ぶ（楽しむ）ことも心を解きほぐすことにつながります。
- ・ 最終的には、信頼関係のもと、学校への思いや悩み、将来の夢や憧れなどについて聴けるとよいでしょう。

【保護者へのかかわり】

不登校の原因究明よりも子どもの今の状態を受け入れ、「今できることは何か」「これからどうするか」を保護者とともに考えていこうとする姿勢が基本 **つながる** **支える**



- ・ 家庭訪問する際は、できるだけ事前に知らせておきましょう。
- ・ 前年度からの情報をきちんと把握しておきましょう。（同じ説明を何度も繰り返させないことは、保護者からの信頼を得ることにつながります。）
- ・ 本人だけでなく、保護者のつらさや苦しさ・不安を聴く時間をつくり、共感的な姿勢で臨みましょう。

2 訪問前に行うこと

【毎回確認しておくこと】

- 今回の家庭訪問の目的を明確にしておきましょう。
 - ・ 表情や体調を確認するため？
 - ・ プリント等を渡すため？
 - ・ 先生（学校）にしてほしいことはないか聞くため？
 - ・ 保護者と話をするため？
- ※ 学年主任等に、訪問の目的や話す内容等を事前に相談しましょう。



【よりよい児童生徒理解のために】

- 本人の生育歴や家庭に関する情報の整理をしておきましょう。
- 不登校になったきっかけ及びその後の経過等を把握しておきましょう。
- 兄弟姉妹が同様に不登校になっている場合は、関係学年・学校と必ず連携を図りましょう。

3 訪問後に行うこと

- 変化を見取る資料にするため、本人の様子等の記録を残しましょう。

＜＜記録する内容例として＞＞

- ◆自分の発言・・・次回の訪問までに約束したこと、登校刺激として提示したもの等
- ◆本人の反応・・・興味を示した、顔が曇った、急に話題を変えた等

※ ただし、本人や保護者の前でメモを取ることは控えましょう。

- 状況を管理職や主任等に報告しましょう。（ひとりで抱えることなく情報を共有することで、よりよい対応のアイデアにつながります。）
- 家庭訪問後の子どもの様子を保護者から聴くようにしましょう。（今後の対応方針を決めるよい判断材料になります。）
- 定期的に、ケース検討会（生徒指導主任等が主催）を開催しましょう。

- ・ これまでの取組や今後の指導方針について検討しましょう。（必要に応じてスクールカウンセラー等の専門家を交えて）
- ・ 特に、積極的に登校を促す時期や訪問者の交替等については、共通理解のもとで進めることが望まれます。
- ・ 不登校という状態が本人にとってどんな意味をもつのか、また本人の社会的自立の支援のために学校は何ができるのかという視点を持ち、関係者全員で考えることが大切です。



Q & A こんな時どうする？ (※あくまでも一例です。)



Q：在宅と思われるのに応答がない場合、どうすればよいか？

- A：**
- ・ 呼び鈴を何度も鳴らしたり、大声で呼びかけたりすることは控えましょう。
 - ・ 単に「会いたくない」という理由だけでなく、「保護者が不在だから」「就寝中」「出ていける服装でない」「訪問者が誰だか分からないから」など様々な理由が考えられます。
 - ・ 訪問する前に電話等で予告しておきましょう。(できれば前回の訪問時に予告しておく) 会えなくても、メモを残して帰るなど、来たことを伝えるとよいでしょう。

Q：保護者には会えるが、本人には会えない場合、どうすればよいか？

- A：**
- ・ 担任と保護者との会話を聞いていることもあり、内容が必ず本人に伝わることを踏まえ、慎重に話しましょう。(本人へのメッセージ等を予め用意しておきましょう。)
 - ・ 保護者の我が子や学校に対しての期待・思いをまずはしっかり受け止めましょう。
 - ・ 本人が家庭訪問を拒む場合は、必要に応じ、学校等で保護者と相談することも可能であることを伝えましょう。

Q：本人に会えるが、学校の話をしたがらない場合、どうすればよいか？

- A：**
- ・ 本人との人間関係づくりを優先しましょう。
 - ・ 「(最近) どうしてる？」などの言葉かけをし、家での様子を聞いてみましょう。
 - ・ 本人の興味・関心のあることを話題にし、できるだけ本人の思いを聴くようにしましょう。(ただし、必要以上に長居をしないようにしましょう。)
 - ・ ストレスのある話題があっても、「話をしてよかった」「会えてよかった」「ホッとした」とお互いが思えるような雰囲気になりたいものです。

Q：保護者から「もう来ないでください」と言われた場合、どうすればよいか？

- A：**
- ・ 「では、そうします」と安易に受け入れるのではなく、どういう意図で保護者がそう言っているのか確認する必要があります。本人あるいは保護者にとって何が負担になっているのか(訪問頻度や近所の目、学校への気持ち、改善されない状況への失望等が考えられます。) 聞いてみるのが大切です。
 - ・ こうした場合は、必ずケース検討会議にかけ、共通理解のもと、その後の対応を決めていきましょう。

【県関係】	相談機関等	【市町関係】
<p>子どもと親のサポートセンター 「ふれあい総合テレホン」 083-987-1240 「ふれあいFAX」 083-987-1258 「いじめ110番」 083-987-1202</p> <p>山口県精神保健福祉センター TEL 0835-27-3480 「こころの健康電話相談」 TEL 0835-27-3388 山口県中央児童相談所 TEL 083-922-7511 「おやこほっとライン」 TEL 083-932-3939 山口県中央児童相談所宇部駐在 TEL 0836-39-7514 山口県下関児童相談所 TEL 083-223-3191 山口県周南児童相談所 TEL 0834-21-0554 山口県萩児童相談所 TEL 0838-22-1150 山口県岩国児童相談所 TEL 0827-29-1513</p>		<p style="text-align: center;">～教育支援センター(適応指導教室)～</p> <p>岩国市 中央教育支援教室 TEL 0827-43-0901 岩国市 周東教育支援教室 TEL 0827-84-5335 和木町 教育相談教室「スマイルルーム」 TEL 0827-52-9900 下松市 教育支援センター「希望の星ラウンジ」 TEL 0833-52-0136 柳井市 適応指導教室「しなやかスクール」 TEL 0820-23-8130 周南市 「くすのきラウンジセンター」 TEL 0834-22-8695 周南市 「あすなる熊毛」 TEL 0833-91-6651 防府市 適応指導教室「オアシス教室」 TEL 0835-23-1551 山口市 適応指導教室「あすなる第1教室」 TEL 083-973-6257 山口市 適応指導教室「あすなる第2教室」 TEL 083-932-3084 宇部市 「ふれあい教室」 TEL 0836-35-2241 美祢市 教育支援室 TEL 0837-52-3500 山陽小野田市 小野田ふれあい相談室 TEL 0836-84-5416 山陽小野田市 山陽ふれあい相談室 TEL 0836-71-1681 下関市 学校適応指導教室「さくらやま」 TEL 083-232-3021 萩市 「萩輝きスクール」 TEL 0838-24-4821 長門市 長門市教育支援センター TEL 0837-22-3542</p>
<p>学習支援サイト</p> <p>○小中学校別教科別の学習教材があります。 やまぐち総合教育支援センターホームページから http://www.ysn21.jp/fureai-web/top/student-index1.htm</p>		